

令和元年第6回横手市議会12月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

令和元年12月2日（月）～4日（水） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
2日	1	13番	菅原正志 議員	一問一答	1
	2	7番	奥山豊和 議員	一括	2
	3	19番	佐々木喜一 議員	一括	3
	4	14番	齋藤光司 議員	一括	4
3日	5	6番	加藤勝義 議員	一括	5
	6	11番	立身万千子 議員	一括	6
	7	2番	高橋和樹 議員	一問一答	8
4日	8	24番	土田百合子 議員	一括	9
	9	1番	本間利博 議員	一括	11
	10	10番	鈴木勝雄 議員	一括	12

※質問区分の説明

- 一 括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【13番 菅原 正志 議員】（一問一答）

1. Y8サミット創快横手市議会について

- 1) 提案内容についてどのような印象を持ったのか伺う。
- 2) 提案者の思いに寄り添った答弁であったのか伺う。

2. 公共施設マネジメントについて

- 1) 利用料の見直しで算定の根拠となっている維持管理コスト 50%の回収は可能なのか伺う。
- 2) FM計画との整合性は確保されているのか伺う。
- 3) スポーツ施設整備の今後の見通しについて伺う。

3. 地区交流センターについて

- 1) 交流センター化移行のタイミングをどう考えるのか伺う。
- 2) 運営協議会は十分に機能しているのか、センター長と事務補助員に負担感はないのか、その現状について伺う。
- 3) 交流センターの諸課題、公用車配置、交流促進施設、人材育成等について伺う。

2. 【7番 奥山 豊和 議員】（一括質問一括答弁）

1. 人口減少社会における「観光地域づくり」を通じた地方創生の実現に向けて

- 1) 「観光立国」の方針が掲げられている中で、横手市が「観光」を通じて目指すもの、理念について伺う。

- 2) 市が主導し、新たな観光地域づくりの担い手となるDMOの設立を目指すことを表明してから今日に至るまで、プロセスや関与の仕方を振り返りながら、「一般社団法人 横手市観光推進機構」の現状をどのように受け止めているのか。

- 3) 「一般社団法人 横手市観光推進機構」と市の連携について。日常、情報共有や意見交換はどのようになされているのか。
合わせて、庁内に設置されている「よこて版DMOサポート連絡調整会議」の状況について伺う。

- 4) ふるさと納税について。返礼品の取り扱いを含め運営を「一般社団法人 横手市観光推進機構」に委託することで、活動資金を確保できるのではないか。

- 5) 観光地域づくりの視点から、「グリーンツーリズム」の推進について伺う。

- 6) 観光に関わる予算のあり方と今後の方向性について伺う。

3. 【19番 佐々木 喜一 議員】(一括質問一括答弁)

1. 防災について

- 1) 新防災マップの作成はどのようになっているのか。
- 2) 避難場所、経路についての配慮は。
- 3) 住民の意識喚起は。

2. 古文書の取り扱いについて

- 1) 基本的な考え方について。

3. 物産展「リトルよこて」について

- 1) 開催につながった経緯は。
- 2) 規模は。
- 3) 評価は。

4. 【14番 齋藤 光司 議員】（一括質問一括答弁）

1. 現市の教育行政が新教育委員会制度の理念と合致しているか

- 1) 平成 27 年 4 月 1 日施行の地方行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、新教育委員会制度が発足したが、いじめ、登校拒否等の問題に迅速に対応できていない、また地域住民の民意が教育行政に反映されていない等々の旧委員会制度の欠陥に、改革という形での対応策として今回一番変わったのが、首長が招集する総合教育会議の設置であると認識している。

しかし、協議、調整事項を担当部、担当課が、正直に細部までの問題点を協議案件に列記、説明しないと、結局のところ教育長をトップとする委員会内部だけの価値観、判断による課題調整になってしまうのではないかと危惧を持っている。種々の課題、個別事項が正しく、どこまで市長にあがっているのか。また構成メンバーである教育委員まで同様の説明等が行われているのか伺う。

- 2) 平成 9 年 1 月 27 日付の文部省通知である通学区域制度の弾力的運用通知により、当市での学区制度の決定、運用がどのように変化し、現在、保護者の意向、負担に配慮されているのか伺う。また、現在、市内から市内、市内から市外、市外から市内へとの学区変更が考えられるが、どのような配慮のもと許認可されているのか。横手市人口ビジョン、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略のもとでは、市の教育理念、子育て支援からしても、市内の学区制度を廃止し、子どもの成長、保護者の負担の軽減をはかることこそが、市の存続、発展、人口減少の緩和につながる施策になるのではないかと考えるが、教育長の考えを伺う。

- 3) 当市の指定学校変更許可は、保護者による通学手段の確保が必須条件になっている。合理的な理由があつてのことと推察はするが、義務教育期間 9 年間、そのことによってのみ通学手段を限定し続けることが、本来の市が理想とするところの子ども本位の通学形態とは私は思わない。災害、災難等、しかるべき時に一人ひとりの深刻な事情に寄り添う形での問題解決に背を押してくれる教育行政であつて欲しいのだが、現状をどう分析し、方向性をどう導き出すのか考えを伺う。

5. 【6番 加藤 勝義 議員】（一括質問一括答弁）

1. SDGs（持続可能な開発目標）について

多くの自治体では今後直面する難局に対して、今までとは異なる変革が求められている。そして先導的な自治体では新たなツールとして、SDGsの導入に関心が高まっている。国家戦略として位置づけられるなど、すでに多くの自治体が積極的に活動し、SDGs未来都市や自治体SDGsモデル事業の選定を受けて、好循環を生み出している地域もみられる。以下質問する。

- 1) 横手市ではSDGsの導入を含めて、どのように考えているか。

2. 防災情報伝達について

今年9月の台風15号からわずか1か月後に、再び大型で強い台風19号が襲い、多くの被害が発生した。近年は異常気象は異常ではなく、常態化されているといわれる。そんな中、第一に災害対応としてまずは最新情報を得て自分の身は自分が守る自助が大切といわれる。以下質問する。

- 1) 横手市には情報伝達の一つに防災ラジオがあるが、広大な横手市において未だ難聴地域があると聞く。難聴地域調査と対応方法を伺う。
- 2) 先般開催された議会報告会において、現在防災行政無線が使用されている地域の方々から、デジタル移行に伴い廃止されることに対する不安や、防災行政無線の継続を求める声が多くあった。廃止について住民にいつどのように、誰が、丁寧に説明され、そして意見を聞いたのか伺う。

6. 【11番 立身 万千子 議員】（一括質問一括答弁）

会計年度任用職員制度について

2017年5月「会計年度任用職員」制度が法定化され、2020年4月からの施行に向けて、横手市でも今市議会に条例案が出された。

現在、在籍する職員のみならず、市民にとっても理解することが困難な状況にある中で、市民の不安や疑問を解消するため、以下のとおり質問する。

1. 現在の非正規職員が会計年度任用職員になると得られるメリット、デメリットは何か問う

1) 収入面。

2) 働き方。

2. 会計年度任用職員のうち、1号職員と2号職員の違いは何か

1) 現時点で1号職員と2号職員に分類される職員の人数

2) 勤務時間。

3) 手当の種類。

4) 兼業は可能か不可能か。

5) 福利厚生。

3. 現行では、10年間勤務が可能とされる専門職も1年ごとの契約になるのか問う

- 1) 一般事務職であっても、最低3年は同一部署で勤務すべきと世間では言われているにもかかわらず任用期間を「会計年度」としたことで、更新しない根拠にもなるのではないかと懸念するがどうか。

7. 【2番 高橋 和樹 議員】（一問一答）

1. 横手市高齢者福祉計画から

- 1) 地域における高齢者への支援体制について行政ができることとは何か。
- 2) 高齢者の自立した生活の維持について行政ができることとは何か。

2. 横手市の人事行政の運営について

- 1) 職員の定員管理計画と、会計年度任用職員制度の今後の方向性について。

8. 【24番 土田 百合子 議員】（一括質問一括答弁）

1. 教育行政について

1) コミュニティ・スクールの導入について。

学校運営に保護者や地域住民の意見を取り入れる仕組みをもった学校をコミュニティ・スクールと言う。学校運営協議会制度とも呼ばれ、学校には、保護者や地域住民の代表等で組織する学校運営協議会が設置され、学校運営に保護者や地域住民の皆さんが関わることが出来る新しい仕組みと言える。コミュニティ・スクールは、地域と共通の目標やビジョンをもって地域ぐるみで子どもたちを育むことをめざし、「地域と共にある学校づくり」を進めることで、学校と保護者、地域住民が一体となって子どもたちの健やかな成長を支援する取り組みが活発になることが期待されている。

コミュニティ・スクールについては、平成28年3月議会一般質問の教育長答弁では、「各学校で評議員制度が確立されており、評議委員会を組織しながら意見を吸い上げたり学校の要望を伝えたりしながら、地域との連携を深める方法も1つである」との説明であった。県内で1校以上導入している市町村は、10市5町村であるが当市のコミュニティ・スクールの導入の考えを伺う。

2) SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した相談事業について。

近年、スマートフォンなどの普及に伴い、若年層の多くがコミュニケーションの手段としてSNSを用いている。いじめの早期発見、早期対応につなげる事を目的に、中学校等の生徒を対象としてSNSを活用した「いじめ相談事業」が全国的に普及しつつあるが、当市の「SNSを活用した相談事業」について伺う。

3) 不登校「適応指導教室」について。

長期にわたって学校を欠席している児童生徒への支援と、その保護者の援助にあたるため、醍醐公民館に「南かがやき教室」、大雄農業団地センターに「西かがやき教室」の2か所に適応指導教室が設置されている。それぞれの教室で、2人の指導員が児童生徒の指導と、面接相談や電話相談にあたっているが、横手地域への適応指導教室の設置は考えられないか伺う。また、適応指導教室に行きたいが、教室までの交通手段がなく登校できないといった声もあるが、解消に向けた取り組みについて伺う。

2. 災害対策について

1) タイムライン（防災行動計画）の普及について。

災害時の被害を最小限に抑えるため、自治体や、企業が時系列で取るべき行動を定めるタイムラインの作成が推進されている。個人においても、避難行動などを事前に決めておくマイ・タイムラインの普及も重要と考えるが当市の取り組みを伺う。

2) 内水氾濫への対応について。

今秋の台風では、河川の水が堤防を越える氾濫が多く報道されたが、堤防から水があふれなくても、雨水が排水溝や下水道などの排水能力を超え、道路や建物が浸水する内水氾濫も発生している。内水氾濫による浸水は、河川氾濫による浸水より頻度が高く、河川から離れた場所でも被害が起きている。市内の幸町、根岸町、前郷二番町周辺では少し強い雨が降ると水が溜まって床下浸水になるとの相談があった。内水氾濫マップを作成するとともに、豪雨時の対応をお願いしたいがどうか。

3. 戸波橋の老朽化について

1) 戸波橋は、昭和 46 年 3 月に完成し、非常に老朽化しているが、今後の計画について伺う。

9. 【1番 本間 利博 議員】（一括質問一括答弁）

1. スキー授業とスキー場について

- 1) 今年度のスキー授業の実施方針について伺う。
- 2) 天下森スキー場の整備と横手公園スキー場の方向性について伺う。

2. 総合雪対策基本計画について

- 1) 市直営除雪と業者委託除雪の今後の方向性について伺う。
- 2) GPSを活用した除雪管理システムについて伺う。
- 3) 雪対策における協働の考え方を伺う。
- 4) 生活道路除排雪協働事業の実績について伺う。
- 5) 小規模雪寄せ場の検討について伺う。
- 6) 道路の穴ぼこ対策について伺う。
- 7) 雪エネルギー活用推進の取り組みについて伺う。

10. 【10番 鈴木 勝雄 議員】（一括質問一括答弁）

1. 農業振興施策等について

- 1) 園芸作物の振興拡大について伺う。
- 2) J A 土壌分析センターの活用について伺う。
- 3) 農業生産工程管理（GAP）について伺う。
- 4) 販売支援体制の構築について伺う。

令和元年12月定例会日程予定【会期16日間】

—— **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——

- ◇11月26日(火) 〔開会〕議案上程 ほか
- ◇12月 2日(月) 一般質問
- ◇12月 3日(火) 一般質問
- ◇12月 4日(水) 一般質問
- ◇12月11日(水) 委員長報告・採決 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

—— **委員会** ——

- ◇11月26日(火) 一般会計予算特別委員会
- ◇12月 5日(木)～6日(金)
各常任委員会、
一般会計予算特別委員会分科会
- ◇12月11日(水) 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

